

関 係 所 属 長 様

関 係 学 校 長 様

熊 本 県 柔 道 協 会

会 長 河 津 修 司

【 公 印 省 略 】

春季昇段審査実施について（通知）

標記のことについて下記の要項の通り実施いたします。

つきましては、貴所属の有段資格者の参加について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス関連の記載につきましても、ご確認の上、支部経由にて期日までに、本協会に申
込いただきますようお願い申し上げます。

記

1 期 日 令和3年5月5日(祝・水) 午前8時半集合

2 場 所 熊本武道館（更衣室の利用不可。更衣を済ませ集合すること）

3 審査科目 実技審査（試合）・形・学科によって行う。形・学科審査については下記の通りとする。

※女子柔道昇段資格に関する内規の部分改定（平成22年4月1日施行）により、下記のように
改正する。（男子の受験と同じ）

受験段位	形	学 科	備考
初 段	投の形（手・腰・足技）	実施しない	形及び学科を受査しないときは、 実技審査の合格を取り消す。
二 段	投の形	実施する	
三 段	固の形	実施する	

4 審査規定 実技審査（試合）は、改訂された国際柔道試合審判規定（一般規定）で行う。

実技審査（試合）の時間は、3分とし、リーグ戦にて実施する。

実技審査（試合）で合格点に達した者が、形（全員実施）・学科（二段以上実施）を受験した後、
その結果を総合的に判断して合否を決定する。

5 受査資格

1) 本県協会員に限る。（未入会者は、入会金3,000円を添えて入会手続きをすること。）

2) 下記の条件を満たした者（※女子の昇段に伴う修行年限は、男子と同じとする。）

イ、初 段 一級以上の実力を有する者。（小学児童は不可）

ロ、二 段 初段合格日より1年以上経過した者。

ハ、三 段 二段合格日より2年以上経過した者。

6 受 査 料

初 段 3,000円 二 段 4,000円 三 段 5,500円

※前回受査時、形・学科不合格者 初 段 1,000円 二 段 2,000円

7 申し込み

- 1) 申込書類はもれなく記入すること。

受査段位、所属及び学校名等を楷書で書き、氏名にはフリガナもつけること。

- 2) 申込書は受査料を添えて、4月13日（火）までに各支部へ提出（業務時間に必着）すること。

各支部は、4月17日（土）までに県協会へ提出（業務時間に必着）すること。

〒862-0950 熊本市中央区水前寺5丁目23-2 熊本武道館内

- 3) 申込期日は厳守すること。（期日後の申し込み及び電話での申し込み等は、一切受け付けない。）

- 4) 本年度の全日本柔道連盟登録を完了していること。

5) 健康記録表および同意書の提出について

受査者は、「新型コロナ感染拡大防止対策についての同意書」の提出が必須となるため、よく読んで記載事項を遵守し、願書と一緒に申し込むこと。

審査参加者（役員等も含む）は、審査2週間前(4月22日（木）からの体温と症状の有無を記録した「健康記録表」（県協HPに掲載）を会場での受付時に提出すること。なお、提出物等に不備がある場合には参加を認めない。

8 その他

- 1) 審査願書、入会願書が不足している場合は、各支部または県協会に請求すること。

- 2) 実技審査合格者で、形・学科の得点が不十分な者は不合格となり、次回の昇段審査で再審査を行う。

- 3) 二段・三段受査者で実技審査が実施できない人数の場合、昇段審査を実施しないことがある。

- 4) 講道館昇段内規では満14歳（中学2年）からと規定されております。従って、中学2年時点での全日本柔道連盟登録が必須です。

- 5) 定期昇段審査においては、累積・実績法を導入している。（平成29年11月3日より）

注意事項

- 1) 「形のみ」の受査者は、申込書の左上に朱書きで、「**形のみ受験**」と明記すること。

- 2) 女子は女子用の申込用紙（ピンク色）で申し込むこと。男子用の申込用紙（白色）で申し込む場合は、必ず申込用紙の上部に**朱書きで「女子」**と明記すること。

- 3) 申し込み後の受査料は返還しない。ただし、二段・三段審査が実施できない場合は返還する。

- 4) 審査合格後、半年（6ヶ月）経過しても昇段手続きを行わない場合は、その合格を無効とする。

- 5) 申し込みについては、必ず支部を通すこと。申込書に支部長印がないものは受け付けない。

- 6) 駐車場は、数が限られますので、送迎者の駐車場での待機はご遠慮ください。

- 7) 本審査は、無観客でおこなう。

※新型コロナウイルスの対応策について※

柔道は3密を避けられない競技です。審査で感染者が発生しないよう以下の注意事項をよくご理解いただき、審査前の日常生活で実行していただくようお願い申し上げます。

1. 無観客

本審査は、受査者、大会役員・係員のみで行います。指導者、応援、帯同者の入場はできません。

2. 顔を触れる前に必ず手指衛生を

ウイルスは目と鼻、口から体内に侵入します。咳やくしゃみによる飛沫感染だけでなく、手指を介した接触感染も問題です。人は1時間に20回以上顔を触るとされています。こまめに流水と石鹸による手洗いやアルコール消毒を心掛けて下さい。

2. 「3密」をさける

新型コロナウイルスの潜伏期（発症するまでの期間）は最長で2週間と言われています。審査2週間前から不要不急の外出は極力自粛し、3密となりやすい飲食店などの利用は控えて下さい。

3. 審査日の2週間前から体調チェックのお願い

会場に入場する全員が、4月22日から体温と健康状態を健康記録表にご記入いただき、当日お持ち下さい。当日会場で行う検温や健康記録表で症状があった場合は入場できません。また、健康記録表をご提出いただけない場合も入場をお断りすることがあります。

4. 全柔連指針

本審査は、全柔連「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針」に準拠し運営を行います。指針の最新版は、全柔連HPに掲載をされておりますので、参加する皆様は、必ず事前にお目通しいただき、感染症対策を徹底したうえでのご参加をお願い致します。今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、審査要項の変更または、審査中止になる可能性がございますので予めご了承ください。その場合、本協会HP等に掲載いたしますので、各自ご確認宜しくお願い致します。